

### 1 1 1. <専門用語>

J S では技術開発の成果の概要を、調査・研究ごとに英訳して英語版のホームページに掲載しています。

[http://www.jswa.go.jp/english/r\\_d/results/research-subject\\_pdf/2008.pdf](http://www.jswa.go.jp/english/r_d/results/research-subject_pdf/2008.pdf)

英訳は専門業者に委託していますが、成果品は私もチェックします。さすがに、専門用語は大体わかります。

先日、その概要版の英訳に目をとおしていたら、見たことのない用語がでてきました。「sulfuric acid band」というものです。「sulfuric acid」は硫酸なので、何か硫酸に特有のスペクトル帯 (band) でもあるのかと思いましたが、聞いたことはありません。原文を確認したところ、なんと「硫酸バンド」でした。翻訳者はバンドを英語の「band」だと思ったらしいのです。

ご存知の方も多いと思いますが、このバンドは「礬土」と書いてアルミニウムの化合物をあらわします。「明礬」の「礬」です。

硫酸バンドは化合物名でいえば、硫酸アルミニウムであり、英語では「aluminum sulfide」または「alum」です。凝集剤に使うので、上下水道界では一般的な物質ですが、普通の人にはなじみが薄いのでしょうか。

昔、大学生のころ先輩たちが「硫酸バンド」というフォークグループを結成していましたが、こちらはまさしく「band」です。衛生工学系の学生バンドとしては実によいバンド名だと思うのですが。

下水道の専門用語にはわかりにくいものが多いと思います。下水道を一般の方に身近に感じてもらうためには、なるべくわかりやすい言い回しをするように配慮すべきでしょう。例えば、「人孔」のかわりに「マンホール」を使うとか。

因みに、専門用語を英語でいうと「technical term」になるのですが、これだと技術用語に限定されるようです。専門用語を直訳すれば「specialized term」となりますがどうもしっくりしません。揶揄をこめた言い方で「jargon」という言葉があるので、このあたりでしょうか。

<新技術推進課長 川本和昭>

※ J S 技術開発情報メール No. 125 号 (2012/4/9) に掲載